

2010年(平成22年)8月6日(金曜日)

(第3種郵便物認可)



湯ったりたみ

足元滑らぬ温かく

たつのの「極東産機」転倒事故防止目指す

も88センチ厚さ2センチ。風呂場での転倒事故防止などを目指して、昨年12月から商品化に取り組んできた。

たつの市龍野町日飼のインテリア総合メーカー「極東産機」(頃安雅樹社長)は、風呂場専用の畳「湯ったりたみ」を開発し、7月に販売を始めた。風呂場の床がタイルや石などの場合、「滑りやす

い」「冷たい」と不満を持つ人も少なくないが、畳を敷くことで温かく、滑りにくくなったと好評だ。同社は「お年寄りや子どもらの転倒事故防止につながり、安心して風呂を楽しんでもらえるよう役立てば」としている。

同社は1948年、畳製造機器メーカーとして創業。自動で畳を縫いつける機械を製造しているが、ほかにもマットのように敷ける畳や裏返せばカーペットになる畳などユニークな製品を扱っている。

湯ったりたみは、縦横と温かくて、滑りにくいと好評の「湯ったりたみ」

▲

畳の表面は、水をはじく特殊樹脂加工が施され、樹脂表面の微小な穴が、湿気を吸収する。裏面には直径1センチほどの排水溝があり、畳に吸収された水が排出される仕組みになっている。取り外しも簡単なので、浴槽などに立て掛けて干せば、カビは生えないという。

開発に携わった同社ジャパソリビング事業部の村上充義さん(44)は「畳は日本人になじむ。安全面や快適性はもちろん、風呂に入りながら癒やしの効果も期待できる」と話している。今後は温泉旅館や介護施設などの普及にも力を入れるという。

1枚1万4000円で、原則として4枚以上から販売。問い合わせは同社(0799-62・0088)へ。